



天王寺区の 都市景観資源紹介

天王寺区の 都市景観資源紹介

大阪市では、平成 15 年度に天王寺区の都市景観資源（旧・指定景観形成物）を 2 件を登録するとともに、平成 24 年度に天王寺区の都市景観資源の発掘のため、「天王寺区の自慢の”ええトコ”情報」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成 26 年 3 月 20 日に 34 件を都市景観資源に登録しました。また、令和 2 年 5 月 15 日に 1 件を追加登録しました。

いっしんじ A 一心寺



- 所在地 大阪市天王寺区逢坂 2 丁目 8 番 69 号
- 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日
- 概要 約 800 年前に法然上人が、四天王寺の西、海に沈む夕陽が望めるあたりに造った草庵が一心寺のはじまりで、骨仏の寺として全国的に有名。昭和 20 年（1945 年）、戦災によりほとんど焼失したが、その後、昭和 41 年（1966 年）には本堂が再建され、その後も念仏堂・山門など伽藍の再興が進められている。

そうほんざんしてんのうじ B 総本山四天王寺



- 所在地 大阪市天王寺区四天王寺 1 丁目 11 番 18 号
- 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日
- 概要 四天王寺は、推古天皇元年（593 年）聖徳太子により創建された日本最古の官寺で、南北一列に並び伽藍配置は四天王寺様式と呼ばれる。たびたびの戦火や災害にあたってきたが、西門の石鳥居や、元和 9 年（1623 年）再建の六時堂（ろくじどう）・五智光院（ごちこういん）・本坊方丈（ほんぼうほうじょう）などは重要文化財に指定されており、中心伽藍は昭和 38 年（1963 年）に鉄筋コンクリート造で再建が完成した。

てんのうじ ななさか しんごんさか げんしょうじざか くちなわさか あいぜんざか きよみずさか てんじんざか おうさか
1. 天王寺七坂（真言坂、源聖寺坂、源聖寺坂、口縄坂、愛染坂、清水坂、天神坂、逢坂）



- **所在地** 大阪市天王寺区生玉町、逢阪1丁目、下寺町1丁目・2丁目、伶人町付近
- **登録年月日** 平成26年3月20日
- **概要** 谷町九丁目から四天王寺西門の南北と谷町筋から松屋町筋までの東西の地域には寺や神社が多く、その名を付けた坂や坂の形から呼ばれるようになった坂などがあり、その七つの坂は天王寺七坂と言われている。

口縄坂を上りきったところには織田作之助文学碑があり、松屋町筋と逢坂の交わる公園北口交差点の南東には道しるべの石標なども存在し、坂道とともに歴史的なまちなみを形成している。

いくくにたまじんじゃ
2. 生國魂神社



- **所在地** 大阪市天王寺区生玉町13番9号
- **登録年月日** 平成26年3月20日
- **概要** 皇紀元年より3年前（約2700年前）、神武天皇が九州から難波津に到着の折、大阪湾に浮かぶ石山碕（現大阪城を含む一帯）に生島神（いくしまのかみ）、足島神（たるしまのかみ）を祀られたのがはじまりとされる。中世、神域内に石山本願寺が建立されたが、これは信長との石山合戦の後、寺内から出火し焼失してしまった。その後、天正11年（1583年）に豊臣秀吉が大阪城を築く地を同地と定めたため、現在の地に生國魂神社は遷された。明治維新後も官幣大社に列せられ、天下の名社として崇敬を集めたが、明治45年（1912年）の「南の大火」で炎上。大正3年（1914年）に国費により再建される。昭和20年（1945年）第1次大阪大空襲により灰塵に帰すも、同25年（1950年）には占領下にもかかわらず市民の赤誠により再建。翌26年（1951年）にジェーン台風により倒壊するも、またもや市民が中心となり同31年（1956年）に再建された。

3. 齢延寺



- 所在地 大阪市天王寺区生玉町13番31号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 元和6年(1620年)僧義春によって曹洞宗の寺として真田山に開創され、元和9年(1623年)に現在の場所へ移転しており、志摩国領主稲葉家の菩提寺でもあった。江戸時代は「齢延寺の彼岸桜」と呼ばれた桜の名所で、今も大樹古墓の多い風格のある寺として知られる。境内には、幕末に私塾・泊園書院を興して活躍した儒者の藤澤東咳(とうがい)・南岳(なんがく)父子や、画家の鍋井克之、名刀鍛冶師(かじし)の左行秀(さのゆきひで)の墓がある。

4. 銀山寺



- 所在地 大阪市天王寺区生玉寺町6番26号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 天正19年(1591年)に豊臣秀吉の城下町建設の一環である寺町建設の中で現在地に創建され、当時の寺号は大福寺とあったが、後に太閤秀吉の命により寶樹山銀山寺(ほうじゅざんぎんざんじ)と改称された。その後寛永8年(1631年)に本堂・大方丈・庫裡・表門・裏門が中興され、元禄14年(1701年)には鐘楼・梵鐘・観音堂が建立された。

5. うえほんまちハイハイタウン



- 所在地 大阪市天王寺区上本町6丁目3番31号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 上本町駅前の商業施設は、第二次世界大戦で廃墟と化したのが、商業閉鎖の危機を乗り越え、これを機に住民が「復興進連会」を発足し、昭和23年(1948年)「国際商店会」に発展していった。昭和52年(1977年)に再開発事業の認可を受け、昭和55年(1980年)に完成した。

6. 上本町YUFURA (上本町新歌舞伎座ビル)



- 所在地 大阪市天王寺区上本町6丁目5番13号
- 登録年月日 平成26年3月20日
- 概要 平成22年(2010年)8月、大阪上本町駅南の近鉄劇場跡地に、近鉄創業百周年記念事業として建築されたショッピング・ゾーン。同年9月には、この6階に、大阪新歌舞伎座が半世紀ぶりに新開場した。広場に面した西面ファサードのアルミキャストルーバーは旧大阪新歌舞伎座の連続唐破風をモチーフにしており、隣接する駅・ホテル・百貨店と立体的に接続した広場をつくっている。